



エコロジア第二太陽光 発電所だより vol.04



発行：2018年10月25日
株式会社エコロジア
080-5458-1477
<http://www.ecolosia.jp>

大規模災害多発の今年の日本。

早いもので、エコロジア第二発電所は運転開始から3年半が経過しました。太陽光発電所を運営上、当然ながら毎月の発電量を意識します。「秋雨前線の停滞のうえに毎週末台風が連続して上陸したせいで、今月は日射量が去年より10%以上も少なかった」等と気象状況を振り返ります。6月の大阪府北部地震、9月の北海道胆振東部地震で広域で大規模な停電が発生しました。電力会社の停電が起きますと、どんなにお日様が照っていても(家庭用、事業用にかかわらず) そのままでは太陽光発電所は発電できません。当然、売電もストップするので収入に即影響がでます。今年は特に、大手電力会社の設備だけでなく、洪水、暴風、地震等で被災・倒壊した数多くの太陽光発電所、風力発電所の報道に触れた気がします。復旧には多大なるお金、時間、労力などのストレスがかかります。明日は我が身かもしれません。より災害に強い発電所運営、日頃の備えの必要性を痛感する今年一年となりました。



感謝祭のご案内

2018年11月18日(日) 参加無料

＜エコロジア第一発電所＞

10:30～ 施設内見学会(発電、送電のしくみの現場解説)

＜エコロジアハウス永地＞

11:00～ 減災対策・非常時電源確保ミニセミナー

12:00～ お楽しみバーベキュー&交流会

適当に肉、野菜、アルコール、ノンアルコール等を用意してお待ちしております。天候がよければドローンも飛ばします！

15:00 終了予定

みんな電力会員の皆様、発電所近隣のみなさま、事前連絡不要です。

上記時間帯のどこからでも適当にふらりとお立ち寄りください

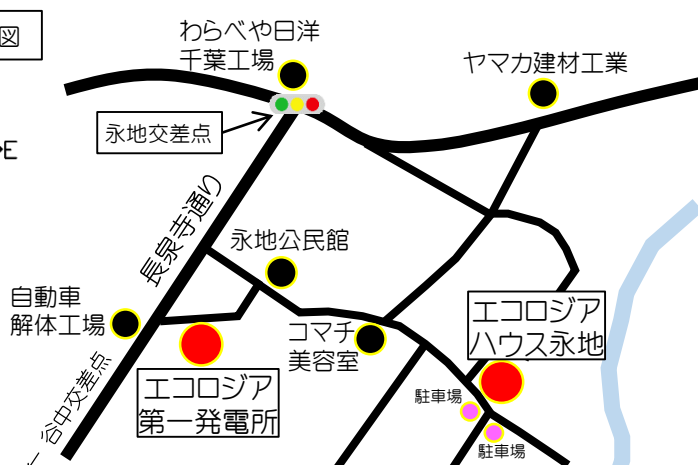


場所：千葉県袖ヶ浦市永地1420番地

エコロジアハウス永地(駐車場あり)



案内図



非常時電源対策のすすめ

北海道で、まさかと思われた全域大停電が起こったことは記憶に新しいことと思います。9月6日に発生した最大震度7の大地震。大規模な土砂崩れや家屋倒壊、液状化被害とともに、停電のためテレビが映らず、重要な情報収集や連絡の手段となったスマートフォン・携帯電話の充電を求める人たちの長蛇の列も報道されました。



札幌市役所で携帯充電サービス「3時間待ち」長蛇の列(朝日新聞デジタル2018年9月7日)

10月1日に上陸、近畿から東北へ横断し、木更津市でも恐ろしく感じた暴風(有吉の発電所の風速計で最大瞬間風速32m/秒=時速117kmを記録)をもたらした台風24号も、静岡県で電柱をなぎ倒すなどで、中部電力管内のべ119万戸で長期間停電を引き起こしました。

このような非常時こそ、住宅に設置した太陽光発電は役に立ちます。大多数の被災者の方への配慮から「うちは大丈夫だった」等の話はおおっぴらに語られませんが、**太陽光発電の自立運転モードや蓄電池、電気自動車を非常時電源として乗り切った**とか、普段どおりの生活ができたという事例は少なからずSNSなどから探すことができました。携帯電話の充電ぐらいでしたら、ソーラー充電式大容量バッテリーも有用でしょう。太陽光発電を設置しているお宅は、日光さえあればいざというときに自立運転で電気が使えることを覚えておき、ご近所にもおすそ分けしたいものです。**エコロジアの発電所ではフェンスにコミュニティコンセント(蓄電池式非常用100V電源)を常設しています。**弊社でできるご近所の方へのささやかな地域貢献です。万一の時はご活用ください。

